



“ホッと”なネットワーク!

かんちゃん通信 第9号

冬❧春号 2018年4月1日発行



かんちゃんの小さな家に寄せられた たくさんの「こえ」

(参加しての感想・メッセージ・メールなど) ありがとうございます

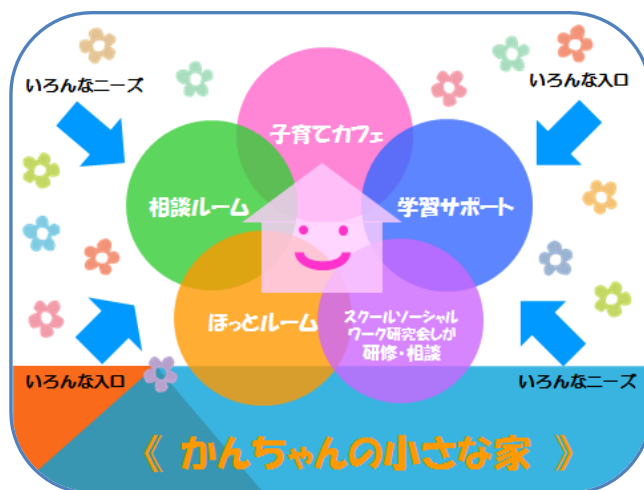
届けられた思いを大切に

2018年度 春からのホッと活動を皆さまとともに♪

♥「あずささんのピアノがとても上手で、わたしもひけるようになりたいです。」(12月)
「ピー ナッツでシチューができるのがふしぎでした。」「ミルクのようなスープになるなんて?」(1月) ♥子どもたちの夢がふくらむホットルーム、子どもたちにとって驚き・発見のホットルームでした!

♥「かんちゃんの小さな家」の冬の活動は、子どもや多くの人々にとって、その魅力と必要性を互いに実感しあう機会になりました。
♥また、「子育てカフェ」など新しい取り組みや、地元のまちづくり協議会、滋賀県国際交流協会をはじめとした新しいつながりが生まれてきました。

♥今回の通信は、寄せられた思いを共有して



「かんちゃんの小さな家」の活動のイメージ図 (安土学区まちづくり協議会事務局の中塚一恵さん作) いろんなニーズをもつ花びらを、いろんな入り口から受けとめたり、新しく創り出したりしていく活動が表されています。



ピアノ演奏をバックに、子どもからお年寄りまで、みんなで楽しいひと時をすごしました。(にこにこコンサート)
[参加者の感想などを2面に掲載]

「気持ちを聴いてもらえて ホットできる場所が 街のあちこちに!」



「新春夢談義」(安土まちづくり協議会主催) で、かんちゃんの家からメッセージを発信しました。(写真はビデオレターの掲示板より) [詳細は4面に掲載]

第25回かんちゃんホットルーム

にこにこコンサート(〜♪

子どもからおじいちゃん、おばあちゃんまで 約60名が

子どもたちの笑顔が
たくさん見られました！
(お母さんたち)

シンガー・ソングライター 佐藤 あずさ さんの

すてきな歌声 と ピアノ演奏に感動！！



「歌もピアノも すごく
上手！自分で曲を作る
なんてすごい！と思い
ました♪また聞きたい
です」
(たくさんの子どもたち)

思わず心が
いやされました
(お年寄・たくさん
の皆さん)

「きれいなピアノ演奏と透き通った
歌声を、こんな近くで聴ける機会
は、なかなかないので、幸せな時
間でした♪ありがとうございました。」
(保護者)



子どもたちが楽しめる参加型
のコンサート
でした♪「ねこ
のまるけ」「しん
ぶんの歌」など
一緒に楽しく
歌いました。



ケーキ、とっても
おいしかったよ。
また作りたいです！



新聞あそびで童心にかえり、子どもたちも私も楽し
ませてもらいました♪
(保護者)

「本格的な演奏にびっくりしました！
小さい子も、幼いころからこのよ
うな本物を聞く機会は、めったにない
と思うので、とてもよい機会になっ
たかと思います。」(学生ボランティア)



ありがとうございました！！

「後援」 近江八幡市社会福祉
協議会・安土地区社会福祉協議
会・近江八幡市教育委員会・安土
学区まちづくり協議会・公益財団
法人近江八幡市国際協会

「助成事業を活用させていた
だきました」 縁創造センター
「淡海子ども食堂」モデル事業・
近江八幡市共同募金歳末助け
合い事業・JAグリーンピース基金

新聞紙をくるくる丸めて
…ひっぱったら、ツリーに
なっちゃった！びっくり
しました。(子どもたち)

日本とは 地球の反対側で

遠く離れていても

ボリビアの国 とっても身近に感じました♪

ピーナッツが、ミルクスープの感じで、とってもおいしかったです！

第26回かんちゃんホットルーム（多文化共生・地域交流会）



子どもたちからの質問

ふしぎ??

- Q 教科書に書いてあったけど、ボリビアの人はみんな「どんぐりのような形の家」に住んでいるのですか？
- Q 歯が抜けたら、ボリビアの人はどうするのですか？
- Q 今日のジャガイモも、ボリビアのじゃがいもですか？

1月のホットルームは、ミゲル・リマさんと浦田広美さん夫妻をゲストに迎え、ボリビアのお話を聞いたり、楽器の演奏・踊りを楽しんだり、そしてピーナッツスープを作ったりしました。30数名の参加者は、「楽しく」「おいしく」・・・ボリビアの文化を体験しました。

子どもたちからの、たくさんの興味深い質問が、とても嬉しかったです。ボリビアでは、「歯が抜けたら、ネズミの通る道に置きます。そうすると、もっと強い歯が生えてくる」という 言い伝えがあります。

ミゲルさん・広美さん



ピーナッツの皮をむくところから始まります。

野菜の皮をむいたり、切ったりしました♪



びっくり！ 子どもたちのこえ

- 今日のかんちゃん（ホットルーム）は、ノリノリでした。とても楽しかったです。ボリビアのがっきや国のことをいっぱい知りました。
- 日本からボリビアまで、早くて2日ときいてびっくりしました。もうひとつ、ボリビアはふじ山よりも高いところにサッカー場があるので、空気がうすく、せかいのつよい国にもかならず勝てるそうです！びっくりです！
- わたしは、ボリビアはどんぐりの形の家しかないと思っていました。でも、そうではなくて、たくさんの家のしゅるいがあって、びっくりしました！どんぐりの形をした家は、少ないことがよくわかりました。
- 牛にゆうが入っていると思ったけど1てきも入ってなくて、ピーナッツがつぶつぶになってました。5はいも食べちゃいました。

そうなんだ！



参加者のこえ

- ピーナッツと野菜で、やさしい味が出てすごくおいしかったです。塩だけで、こんな風味にできるのがすごいですね。また、家でも作ってみようと思います。
- ボリビアの多様な自然や文化の様子が、大変興味深かったです。子どもたちの異文化に対する関心の深さや、学びの姿勢がすばらしく、普段、接する機会の少ない世代間の交流も楽しかったです。
- 標高の高い所から低い所まで高低差も、地質も大きな違いがあり、それにあわせた食文化や生活スタイルがそれぞれある、民族の種類も多いなど、たくさんのことがわかりました。

「3分間のプレゼンテーション」頑張りました!

「かんちゃんの小さな家」から地域に発信



会場から80枚のあたたかいメッセージカード ありがとうございます♥

子どもたちとナシゴレンを作りました!

Ikhsan Gunawan(イッフサン・グナワン)さん
わたしは、イッフサンともうします。安土にすんでいます。日本に行きたい、というゆめがかなって、じっしゅうせいとして来ました。

安土は、ごみがなくて、きれいなまちですね。安土でいろんなことをしました。

かんちゃんの小さな家では、こどもたちといっしょにナシゴレンをつくって、たのしかったです。のぶながまつりでも、また、ナシゴレンをつくりました。たくさんの人とであいました。みんな「おいしい」といってくれて、うれしかったです。

でも、ひとつ、こまったことがあります。わたしが「こんにちは」といっても、なににもはなしてもらえないことがおおいです。みなさん、外国人はこわいですか? わたしは、こわくありませんよ。

みなさんと、もっとはなしたいです。ありがとうございました。



12月の「にここにコンサート」(2面に紹介)に続いて、「かんちゃんの小さな家」の活動や参加者の声を発信する機会をいただきました。

「少しでも多くの方とつながりたい! 多くの方に知ってもらいたい!」と、安土在住のイッフサン・グナワンさん(インドネシア)、川嶋弓さん親子、保智友理さんがメッセージを、そして、かんちゃんがコーディネートを担当しました。その内容を紹介します。

かけがえのない体験やふれあい 子どもたちが楽しみに

川嶋 弓さん 親子

(母) 私は、子どもたちと一緒にホットルームにお邪魔しています。きっかけは、私自身の外国文化への興味でした。今では、子どもたちが、ここに来ることを楽しみにしています。

(子) ここでは、インターネットや本では感じられない事まで、本当に体験できてとても楽しいです。

(母) ここでの活動で、自己と他者の違いを知り、さまざまな国の文化に興味を持ち、実際の経験を通して、肌で、また食べてみて感じられるという事が、本当にかけがえのないものだと感じています。

そのような体験やふれあいを経て、自分たちを含めて世界の一員だと言うことを、自然と受け入れているように感じます。また、遊びや食事の支度の中で、学生さん、外国籍の方、高齢者の方など多世代の人々と、少しずつ関わりをもっていく姿を見て、「たくましいな」と感じています。そんな経験が、低価格で安心した環境でできることをとても嬉しく思っています。

そして、子どもたちが、悩みをもって息苦しくなった時、親以外にも安心してほっとできる居場所が一つでも多くあればと思っています。



親子とも心を許せる場所です

保智 友理さん

我が家は、「ホットルーム」を利用したのをきっかけに、「学習サポート」と「カフェ しゃべり場」を利用させてもらっています。

「カフェ」とは、子育ての困りごとや悩み、不安などをお母さんやお父さんが集まって、互いに話しあったり聞きあったりする場所です。話を聞いてくださる万里子さんやかんちゃんは、相談活動や教員をされていた経験と知識などを元にアドバイスをくださったり、私なりの努力を認めてくださったりします。

それは、我が子と繋がっている学校の先生とも、一緒に悩みがちな家族やママ友とも違う安心感で、私たち親の気持ちを聴き入れ、背中を押してくださり、利用した後には心が軽くなったように感じます。

このように、かんちゃんの小さな家のいろいろな事業で、自分の興味のあるものから利用してみて、いろんな人と繋がっていけるのも魅力です。我が家にとって、「かんちゃんの家」は親子ともに心を許せる場所になっています。



かんちゃんの小さな家

交流のひろば



今回の「交流のひろば」は、「新春夢談義」でいただいたメッセージを、一部ですが紹介します。「夢」をふくらませていきたいですね♪



- ❖「かんちゃんの小さな家」では、すべてが親子のような関係で過ごせているのすごいいました。
- ❖外からではなく、家の中からアットホームな感じで素敵だと思いました。
- ❖かんちゃんの小さな家、応援します。ホッとできる居場所があることを知り利用したいです。
- ❖安土に幸せの花が咲き続けますように。ありがとう、かんちゃん。
- ❖かんちゃんの小さな家を、初めて知りました。居場所づくり、子育てカフェ、相談ルーム、ホットルームなど、いろんなことがたくさんあるのは、とても良いことだと思います。



❖それぞれの国の食文化の交流、とても興味があります。かんちゃんの家のような場所が、たくさんできることを願います。心が温くなりました。

「かんちゃんの小さな家」のホットルームなど、各種の案内は、安土コミュニティセンター等に置かせもらっています。また、6面の下の連絡先にお問い合わせいただいても結構です。お待ちしております！

【短信】

滋賀県国際交流推進協議会:団体部会研修会に参加者22名が、かんちゃんの小さな家に昼食交流会を兼ねて訪問されました。(フィールドワーク 1月)

市内のブラジル人のお母さんによる「手作り弁当」を、みんなでもいただきました。(「かんちゃんの小さな家」に、おとなだけで20人以上が入ったのは初めてでした。すごい!)この交流会が、滋賀の多文化共生ネットワークに加わる契機となりました。



- ❖みんなでなかよく住める安土がいいですね。
- ❖住みやすいまちになってほしいです。外国人の方とも仲よくなれる場所になってほしいです。
- ❖かんちゃん頑張れ!ノウハウをぜひ広めてください。
- ❖安土に住んでいる外国人の方と気楽に交流できるといいですね。文化は違っていても、同じ人間です。互いに優しい気持ちをもって、やさしい日本語でもっと交流したいです。
- ❖安土コミセンを拠点として、ネットで外国人観光客の誘致と、多文化フェスティバル(祭り)を計画してはどうか。

- ❖子ども食堂が安土にもできているのは、はじめて知りました。居場所づくりの大切さを感じました。
- ❖子育て・介護・その他いろいろ語れる場所がいっぱいあるといいですね。
- ❖母親の居場所づくりに、このような場所があることは必要だと思います。
- ❖イッフサンさんとしゃべりたい。こんな家の取り組みがあるとは、知らなかった。
- ❖子どもと一緒に参加して異文化交流を体験してみたい。
- ❖国際社会を通じた思考のなかから安土を考え、取り入れることで、活力がアップすると思う。

学びのご案内

2018年度

“修復的対話(RJ)研修会”の予定

主催: スクールソーシャルワーク研究会しが

- ① 5月12日(土) ② 6月23日(土)
- ③ 10月20日(土) ④ 11月23日(金)
- ⑤ 2月16日(土)

時間 13:30~16:30

会場 近江八幡市・野洲市の予定

講師 郭 理恵さん(大阪府)

学校・福祉関係の皆さまをはじめ、多くの市民の方々の参加をお待ちしています。「修復的対話」は、いじめなどの様々な対立する問題を、当事者が対話によって克服していく手法です。※詳細はお問合せ下さい。

相談ルーム／学習サポート教室／かんちゃんホットルーム
／子育てカフェ／講座「修復的対話（RJ）」等♥詳細は「かんちゃん
の小さな家 ホームページ <https://kancyan-house.com/>」をご覧ください！

子ども・若者相談ルーム

子育てや学校生活・卒業後の進路等で
困ったこと、気になることがあれば
声をかけてくださいね！

毎週水曜日の午後 13:00～18:00

他の曜日の場合は、個別に相談に応じます。
保護者・支援の方の相談も可（要予約）
お問合せ（かんちゃんの小さな家
携帯090-3708-3315）

かんちゃん・まりこさんの「子育てカフェ」



4月 11日（水）
6月 13日（水）
10:30～12:00
会場 かんちゃんの小さな家
※お問い合わせ…下記の連絡先へ

♥「かんちゃんの小さな家 友の会」 2018年度 会員募集中！ ～応援カンパもよろしくお願いします～

おかげさまで、昨年度は皆さまからのご支援により、活動をすすめることができました。ありがとうございます！引き続き、よろしくお願いします。（1口2,500円 手続きは、ホームページをご覧ください。また、かんちゃんの小さな家に直接お問い合わせください。）

友の会・活動支援カンパの振込口座
振込先銀行 滋賀銀行 安土支店
口座種別 普通 口座番号 403489
口座名称 かんちゃんの小さな家
代表 佐子 完十郎

※次号「第10号」は、8月末の発行予定です！

交流会・研修会のご案内



かんちゃんホットルーム

第28回 4月22日（日） 10:30～13:30

会場 常楽寺老人憩いの家
紙芝居やブラジルのあそび「ペテッカ」を体験
しよう！お昼は「ニョッキ」（イタリア料理）を
作るよ♪ ◆参加費：子ども100円・おとな300円

第29回 6月 2日（土） 10:30～13:00

会場 安土コミュニティセンター

せせらぎ（編集後記）

♥今年1～3月、地域・団体の研修会や県内の中学校・高等学校で（5か所・5校）、「活動報告」等や講演をさせていただきました。「多文化共生」「居場所」「子ども・若者支援」等をテーマに、特に中学生・高校生には、スタッフ3名が自らの思いや生き方を語りました。♥「『どうしても自分ひとりじゃわからない！』ってなったときは、かんちゃんの小さな家に行ってみようと思いました。」「つらい時に相談できる場所、一緒に考えてくれる人がいるのは、とても心の支えになると思います。」「・・・中学・高校生から寄せられた感想の中に、このような記述が少なくありませんでした。♥「かんちゃんの小さな家」を「ホットフィールド」と名づけたのは、居場所を「館」・物理的なスペースではなく、「心がつながりあえる時空・広場」という意味を込めたからです。そこには、「今」そして「未来」に向かって開かれ続けていることが求められます。そのために「今、必要なこと」は何か！・・・ともに考えたいと思います。今回の「通信」のたくさんの「思い」や「願い」が、“わたぼうし”になって、あちこちに届きますように。（か）



ホットフィールド 子ども・若者支援 ヒューマンネット

かんちゃんの小さな家

〒521-1351 滋賀県近江八幡市安土町常楽寺956-2
携帯 090-3708-3315（代表 佐子）FAX 0748-46-3283
e-mail srmq61299@nike.eonet.ne.jp

